

北山エリアの整備について

～京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリア～



京都府では、府立植物園や府立大学等が立地する北山エリアについて、現在、建物の老朽化等の課題を抱えていることから、各施設の建替え等により、さらに魅力的なエリアにしていきたいと考えております。



京都府立植物園

観覧温室等の老朽化対応、開園100周年を迎えることから魅力向上・機能強化が必要

- 観覧温室の建替/改修
- 複合的な機能を持った正門周辺の整備
- 教育・学習・研究機能の強化

旧総合資料館跡地等

2016年閉館の旧総合資料館をはじめとした敷地の活用が必要

- 舞台芸術・視覚芸術の拠点施設の整備
- エリア全体の魅力向上につながる付帯施設の整備

京都府立大学

学舎・体育館の老朽化への対応が必要

- 学部学科再編を踏まえた学舎整備
- 整備する体育館は、学生利用を基本に多目的での活用も想定

整備に関する Q & A

北山エリアの整備について、よくいただくご質問にお答えします。

Q1

植物園は垣根がすべて取り払われて、どこからでも入れる公園になるの？

なりませんよ。

垣根をすべて取り払って公園化する計画ではなく、植物園の魅力向上や機能強化となるような整備を検討します。

Q2

植物園の中にショッピングモールのような大規模商業施設やアリーナができるの？

できませんよ。

植物園の中に大規模商業施設を造るものではありません。また、アリーナ（共同体育館）については、植物園内ではなく、府立大学に整備するものであり、学生利用を基本に、多目的での活用を想定しています。

Q3

植物園のバックヤードが削られたり、面積が半分になったりするの？

なりませんよ。

バックヤードは植物の育成のために重要な施設であり、充実させます。また、植物園の面積を削ることはありません。



周辺学区の皆さんとの意見交換の状況

葵学区（6/28）、下鴨学区（7/3）、上賀茂学区（7/6）の各学区の役員会において、意見交換させていただきました。

主な意見等の概要

- 地域住民の防災についても検討して欲しい。
- 新しく整備される文化施設で、子供たちが舞台に立てる機会ができるとうい。
- 従来 of 植物園のままにして欲しい。
- 府立植物園は今ままでなく、もっと商業利用など、活用した方がよい。
- このエリアは川に囲まれた地形で水害時に孤立する恐れがあることから、アリーナの広大な面積を活かして避難所機能を強化し、地域住民の安心安全も担保して欲しい。
- 工事期間中の通学路の安全確保について、学校等と情報共有をしながら進めて欲しい。
- 北山エリア整備について色々な情報が入ってきており、どれが京都府の情報か分からない。
- 半木の道と植物園が切れてしまっているのので、賀茂川からも日本に誇れる植物園があることが分かるような、賀茂川と植物園が一体となるような整備をして欲しい。
- 半木の道は憩いの場であり、静けさを残して欲しい。
- 旧総合資料館跡地は景観上よくないので、早く更地にして欲しい。



植物園整備検討に係る有識者懇話会の実施状況

5月31日に府立植物園の整備について、色々な専門家の方からご意見をいただきました。

主な意見等の概要

- 青少年育成の点で、自然への畏怖の念、学び、気づきを得られる植物園にして欲しい。
- 研究・教育機能を持たせることで、改めて植物園の重要性を府民が認識する。
- 海外から訪れた方に対して、植物園が京都の顔になるような魅力向上を図ってもらいたい。
- 教育や研究機能の強化が国際レベルでの総合植物園としての伸びしろ。
- 次世代への取組として子育て世代、子供たちが楽しめるハード・ソフトの整備が必要。
- 植物園の敷地を削減して植物を犠牲にするような賑わいの創出（商業施設の誘致）は不要。

<有識者会議の開催予定>

8月8日（月）植物園整備検討に係る有識者懇話会（第2回）

9日（火）旧総合資料館跡地等の活用に係る意見聴取会議（第1回）

10日（水）共同体育館整備に係る意見聴取会議（第1回）



【連絡先】京都府文化施設政策監付

Tel : 075-414-4670 Mail : bunshi-kan@pref.kyoto.lg.jp

北山エリア整備に関する
京都府HPはこちら

